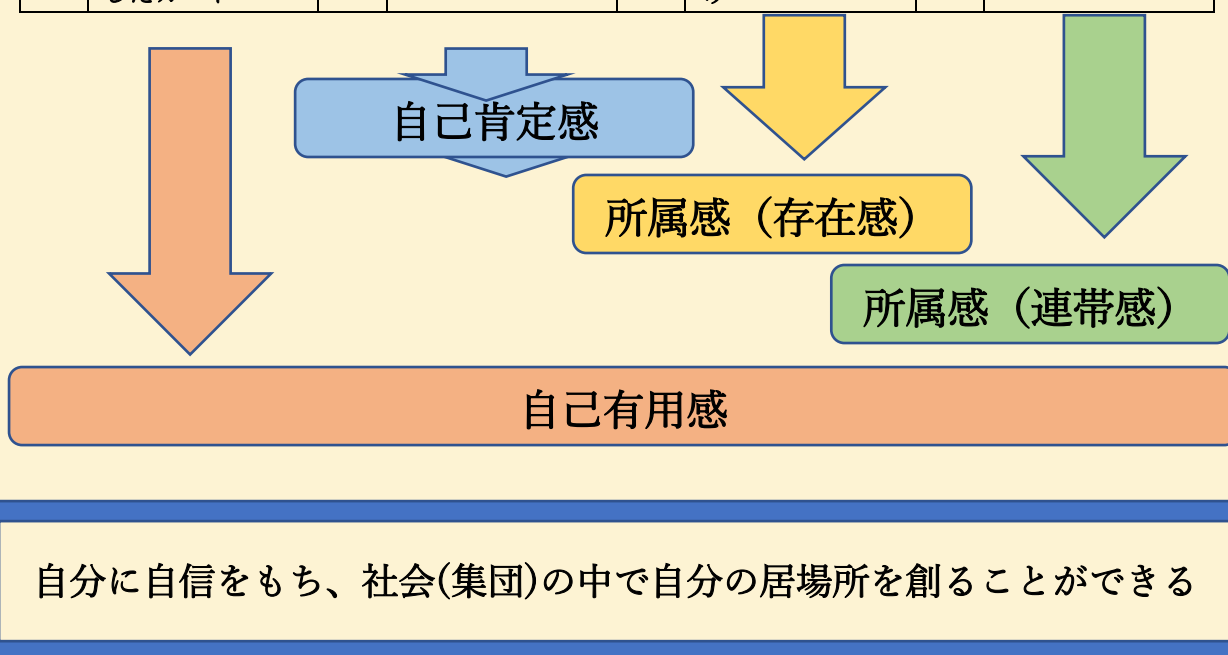


四本の柱

学校の教育目標

心ゆたかに 仲間の輝きを見つける	たくましく 自分の持ち味に気付く	生きぬく子 思いや考えを伝え合う	牧の子 ふるさとに誇りをもつ
---------------------	---------------------	---------------------	-------------------

活動	「たんぽぽカード」	活動	「チャレンジ宣言」	活動	「対話」	活動	「ふるさと体験」
主体	児童会企画委員	主体	児童一人一人	主体	学級	主体	学年・学級
内容	・仲間のきらっと輝く素晴らしい行為や思いを見つけ、学級や全校に広め価値づける。	内容	・自分が頑張ることを宣言し、一定期間取り組む。できたことを価値づけ、評価する。	内容	・仲間との学び合いの中で、「相手・目的・場面・方法・評価」の意識をもって、考えや思いを伝え合う。	内容	・総合的な学習の時間・生活科・特別活動等での地域体験活動に参加する。
確認	職員室職員	確認	担任	確認	授業者	確認	担任・授業者
評価	カードに相手と内容記入 昼の放送・教室掲示	評価	校長に宣言・評価仲間・認定は校長・教室掲示	評価	授業の振り返りで価値づける	評価	総合・生活科の発表
	ポートフォリオしたカード		カードと認定書		毎時間の価値づけ		発表と資料



「心ゆたかに」(たんぽぽカード・輝き見つけ)について

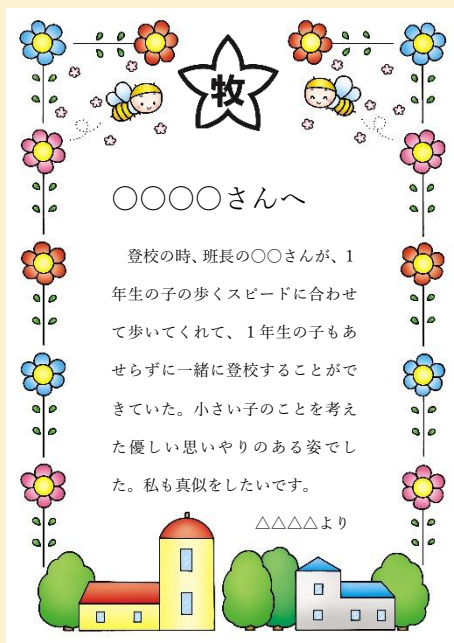
昨年度から、「たんぽぽカード」の取り組みを発展させ、児童自らが「人権」について考え、自らの行動によって考え実践していける集団としていきたいと考えています。そのために、児童会企画委員会を中心として、「たんぽぽカード（輝き見つけ）」の取り組みを行っていきたいと考えます。

仲間の素晴らしい行為や思いを見つけ、褒め・価値づけ、全校に広めていく活動としていきたい。

具体的な流れとしては、毎日の生活の中で「仲間の輝き」を見つけたら、「たんぽぽカード」に相手とその内容を記入し、クラス内であれば、朝の会や帰りの会で発表し、そのよさを価値づけみんなに広める。

また、学年をこえて仲間のよさを見つけた場合は、「たんぽぽカード」に相手とその内容を記入し、「たんぽぽポスト」に投函し、昼の放送で、企画委員会が全校に放送をし広める。放送するカード内容は、事前に職員室職員に聞いてもらってから放送する。

「たんぽぽカード」一例



仲間から認められることによって、「自己有用感」を味わうことができ、牧小学校の一員でいてよかった、「自分が役に立った」「自分の活動が認められた」と感じることができるようになり、「自己有用感」を高めることができる。

「たくましく」(「チャレンジ宣言」)について

昨年度から始めたい事業として、「チャレンジ宣言」があります。内容としては、自己肯定感を高めていくための一つとして、一人一人の児童が、自分を高めるためのチャレンジを宣言し、校長に提出し、友達や先生などに見届けをしてもらう。一定期間取り組むことができ達成できた場合は、校長に報告し、校長から認証カードを出すこととする。年度末には、一人一人に対して認定書を発行し、自分の頑張ったことを価値づけることとする。

また、「チャレンジ宣言」は、学級としても取り組むこととし、3月の学年の終了時になっていたい学級像を具現するための取り組みを「チャレンジ宣言」として取り組み、担任や学級所属員が見届けをし、達成できたときに校長に報告する。校長は、達成できたことを価値づけ、学級に賞状を送ることとする。

※チャレンジの見届け（評価）は、確認する人が簡潔にわかるものとする。

注)「私語をしない」などは、基準がわかりづらく、評価しにくいので避けるとよい。

校
チャレンジ宣言

年 氏名 _____

チャレンジすること _____

私は、自分に自信をもてるようにするために上記の内容について、一生懸命取り組むことを宣言します。

取り組み期間と見届けは、以下のよう
に申請します。

期間： _____ 日（達成できた日の数）

見届け： _____ さん・先生

令和 ____ 年 ____ 月 ____ 日

牧小学校長 古川 正浩

校 **取り組み表**

※できた日に○を付けましょう。残念だった日には、△を付けましょう。

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21	22	23	24	25
26	27	28	29	30
31	32	33	34	35
36	37	38	39	40

心ゆたかに たくましく 生きぬく子。

自分でチャレンジしてみると宣言したのだから、自分の心に立ち向かい、この壁を自分の力で乗り越えていこう。乗り越えたときに、あなたは「新しい世界」「新しい景色」を見ることができよう。

やり切った自分・頑張った自分をイメージしよう。あなたは、「やり切れる」「頑張れる」人です。やり切って、自分に自信をもってください。

古川 正浩

校
学級チャレンジ宣言

年 ____

チャレンジすること _____

私たちは、学級に自信をもてるようにするために上記の内容について、一生懸命取り組むことを宣言します。

取り組み期間と見届けは、以下のよう
に申請します。

期間： _____ 日（達成できた日の数）

見届け： _____ 先生

令和 ____ 年 ____ 月 ____ 日

牧小学校長 古川 正浩

校
チャレンジ宣言

年 氏名 _____

チャレンジすること _____

私は、自分に自信をもてるようにするために上記の内容について、一生懸命取り組むことを宣言します。

取り組み期間と見届けは、以下のよう
に申請します。

期間： _____ 日（達成できた日の数）

見届け： _____ さん・先生

令和 ____ 年 ____ 月 ____ 日

牧小学校長 古川 正浩

校

あなたは、自分で取り組みを考え、最後までやり切り、チャレンジ宣言を達成することができたことを認定します。

牧小学校長 古川 正浩

- 取り組み方法**
- ①チャレンジ宣言・カード2枚を記入し、校長に宣言に行く。カード1枚は、タンポポカードの横に掲示。
 - ②取り組む。見届け。
 - ③完了後、校長に報告に行く。
 - ④校長は、カード1枚に認定シールを張り、もう1枚のシールと共に本人に渡す。
 - ⑤シールを教室掲示に張り、シールの張られたカードは家族に見せて褒めてもらう。
- ※学級チャレンジの場合は、認定書を校長が作成し、学級に渡しに行く。

「生きぬく子」(「対話活動」)について

本校児童の環境や実態を考える中で、大切にしていきたいことは、社会の中で「生きぬく力を身に付ける」ことであると考えます。少人数の気心の知れた集団であったり、地域家庭、みんながあたたく受け止めてくれる環境である中で育った児童である。だからこそ、社会や新しい集団に出たときにも「自己」をもち、自分の言葉で自分の考えを伝え、他者の考えを取り入れたり、比較したりする中で、自分の考えをさらに深めることができるように育てていきたいと考えます。

取り組んでいる「主体的に学ぶ子の育成～対話的な学習活動の工夫～」を大切にし、自分だけではなく、他者との関係性の中で考えを深め、相互に考えや思いを伝え合うことで、自己の存在を自覚し、自ら主体的に行動できる児童が育つと考えます。

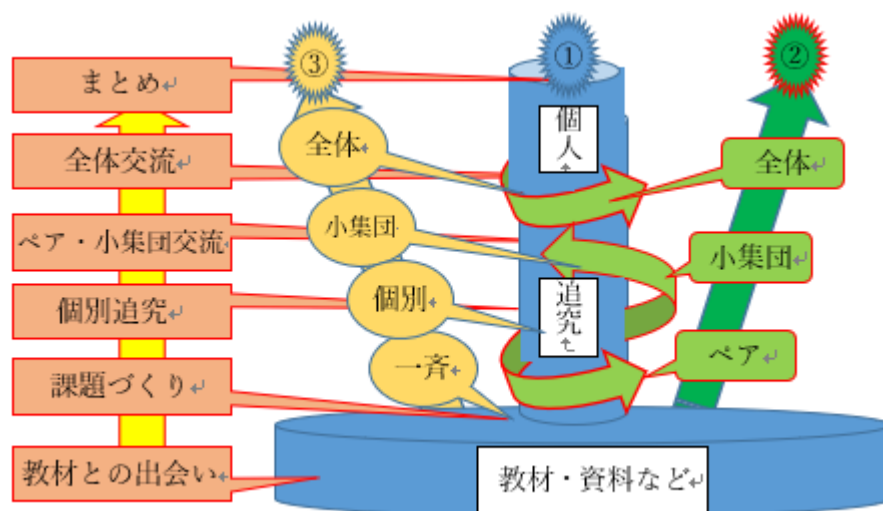
このような授業を実践するために以下に挙げることに着目しながら取り組むこととする。

対話の定義として

- ①…自分と他者の間において言葉を交わすこと。
- ②…(話すこと・聞くこと)、(書くこと・読むこと)という双方向の言語行為。
- ③…「発信」・「応答」の双方向の活動。
- ④…対等な関係で複数人において成り立つ。
- ⑤…話者の背景(身体・経験等)を含めて対話が成立する。
- ⑥…対話は、結論・終末を定めて行うものではない。(結論を出すことではない)

教室での対話モデルとして

- ① 児童と学習対象(教材・資料) ※一人読み・個人追究・自己内対話
- ② 児童と児童……………※ペア・小集団(班)・全体
- ③ 児童と教師(授業者)……………※個別・小集団(班)・全体(一斉)



「牧の子」(ふるさとに誇りをもつ)について

本校は、「牧の子育て隊」をはじめとする様々な支援ボランティアの方々の力をお借りしながら学校運営を行ってきている。助けていただける方々の思いには、地域の子を地域の人が育て育んでいきたいという思いが強くある。このありがたい思いを大切にしながら、ともにこの牧の地について深く知り、地域の一員としての誇りをもった人に育てていきたいと願っている。

そのために、総合的な学習の時間・生活科・学級活動・行事等の様々な場面で、地域の方々の力を借りながら「ふるさと学習」に力を入れていくこととする。

一例として、生活科・総合的な学習の内容例は次のようなものである。

1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
地域の自然	むかしの遊び	牧の地域 ジャンボカボチャ	牧の防災 ジャンボカボチャ 太鼓・踊り	牧の農業 古代米 太鼓・踊り	牧の福祉 すいせん交流 太鼓・踊り

この他に、地域行事への参加・地区運動会の運営補助など、地域の一員としての活動に協力していく。また、PTAや子供会の活動にも協力し、「餅つき大会」などにもできるだけ参加し、地域の一員であることを肌で感じる場面としていく。

更に、児童の学びを深めるために、「牧の語り部」HPを作成し、ふるさと学習に役立てるとともに、9.12 安八豪雨などのこの地の歴史をもとにした防災教育の材料として活用する。

**牧小学校 牧の語り部**

Home 学校の館 学校の写真館 その他 ▾ 🔍

**学校の館**
牧小学校の沿革を振り返る

**学校の写真館**
150年間の足跡を写真で振り返る

**語り部館**
学校や地域のことを語っていただく

**地域の館**
地域の歴史や文化・風習などについて学ぶ

**9.12 安八豪雨の館**

**地図をもとに学ぶ館**